

未来を切り拓く人材の育成

講師

西條 辰義（京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授）

専門はフューチャー・デザイン。1985年にオハイオ州立大学講師、カリフォルニア大学助教授、筑波大学教授、大阪大学教授、高知工科大学教授、一橋大学教授などを経て2023年より現職。制度設計、排出権取引、実験経済学、公共経済学などの研究・教育に携わる。

上月 翔太（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 講師）

専門は高等教育論、文芸学。日本学術振興会特別研究員（DC2）、大阪大学大学院文学研究科助教等を経て2023年より現職。愛媛大学の新設科目群である「未来思考支援科目」の開発に中心的に携わり、その中の1つ「未来思考リテラシー」の授業を担当する。著書に『カリキュラムの編成』（分担執筆）、『人はなぜ神話を語るのか』（分担執筆）等がある。

岡本 剛（九州大学 基幹教育院 准教授）

専門はシステム神経科学、生体医工学。博士（工学）（東京大学）。科学技術振興機構研究員、九州大学デジタルメディスン・イニシアティブ助教授・准教授、九州大学大学院医学研究院准教授を経て2013年より現職。学部1年生から大学院生まで全学部を対象にした基幹教育に携わる一方、大学院システム生命科学府、マス・フォア・イノベーション連係学府、共創学部、未来デザイン学センター等での教育・研究・運営にも関わっている。世界で唯一人の「焚き火の脳科学研究者」でもある。

コメンテーター

小方 直幸（香川大学 教育学部 教授）

広島大学高等教育研究開発センター教授、東京大学大学院教育学研究科教授を経て現職。専門は高等教育論。大学の理念や機能、高等教育政策や大学経営について教育・研究し、現在、放送大学の大学マネジメント論も担当。

司会

中井 俊樹（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 教授）

プログラム概要

予測困難な時代において、大学をはじめとした高等教育機関には、未来を見据えた取り組みが求められています。「未来」という言葉を掲げている大学の目標やビジョンも多くなってきています。

そこで、本シンポジウムは「未来を切り拓く人材の育成」と題し、その名の通り、未来を切り拓く人材に必要な能力とは何かを具体的な実践の報告や参加者との議論を通じて考えていきます。「未来を切り拓く人材の育成」においては、学生個人の幅広い領域にわたる成長だけでなく、地域社会の発展、地球環境問題への対応といった公共性の高い課題の解決も視野に入ります。社会における高等教育の役割について改めて検討する機会となるでしょう。

シンポジウムではまず各登壇者が実践について報告します。登壇者が考える「未来を切り拓く人材」に必要な能力とは何か、「未来を切り拓く」意義や大切さを学生にいかに関え、どのように教育を行っているかについて先駆的な取り組みが紹介されます。そして、各登壇者の報告に対するコメンテーターの意見や問題提起をうけた議論を参加者もまじえて行い、個々の大学において何ができるのかを考える契機を提供します。